

[illegible]

2. 特記仕様

(1) 本特記仕様書の表記

1) 項目及び特記仕様は、●印の付いたものを適用する。

2) 項目に記載の〔第 編 . . . 〕内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

3) 項目に記載の〔第 編 . . . 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4) 項目に記載の<第 編 . . . >内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

第 1 編 一般共通事項

●請負代金

静岡大学財務施設部財務課より工事完了後1回に支払う

●工事用地

使用にあたっては、発注者等の承諾を受ける事。
工事用地の賃料は無償とする。

●工事用写真等

工事用写真等は文部科学省が定めた「工事写真撮影要領」により撮影し、次のものを提出すること。
工事写真：サービス版、カラー（1部）

●工事用電力等

工事用電力、用水の使用料は無償とする

●施工条件
(第1編1.3.3)
[第1編1.3.3]

●完成時の提出図書
(第1編1.7.1～3)
[第1編1.7.1～3]

工事完成後提出する完成図等の種類及び提出部数は下記による。

名 称	体 裁 等	部 数
完成図	A 4 判 ファイル綴じ	1 部
機器完成図及び説明書 ※	A 4 判 ファイル綴じ	1 部
官公庁等届出書類 ※	消防設備等設置届	2 部
工事写真台帳 ※	●電子媒体 ●紙媒体	1 部

C A Dデータ（ ●要 ・不要）

本工事は、全ての工事完成書類を電子納品の対象とする

●完成図 ●機器完成図及び説明書 ●工事写真（サイズは640×480以上とする）

提出方法：C A DデータはJWW、dwgファイル形式にて

CD-Rに保存し、提出する。

貸与する設計図のC A Dデータの著作権名：静岡大学施設課

貸与条件：本工事における完成図作成以外に使用しない事

上記※印は、完成図製本（A 4 判）と一緒に製本してもよい。

●電源周波数

○ 5 0 H z ● 6 0 H z

○金属管の塗装及び仕上げ
(第1編2.7.1)
[第1編2.8.1]

次の露出配管は、塗装を行う。
○屋内（ビット内、P S、共同溝内、電気室内、機械室内を除く）
○屋外（ ）
○屋外に敷設する露出配管で溶融亜鉛メッキ仕上げを使用する場合は付着量300g/m²以上とする。

●電線の色別
(第2編2.1.3)
(第3編1.1.4)
[第2編2.1.4]

配線及び主回路の導体の色別は、次による。

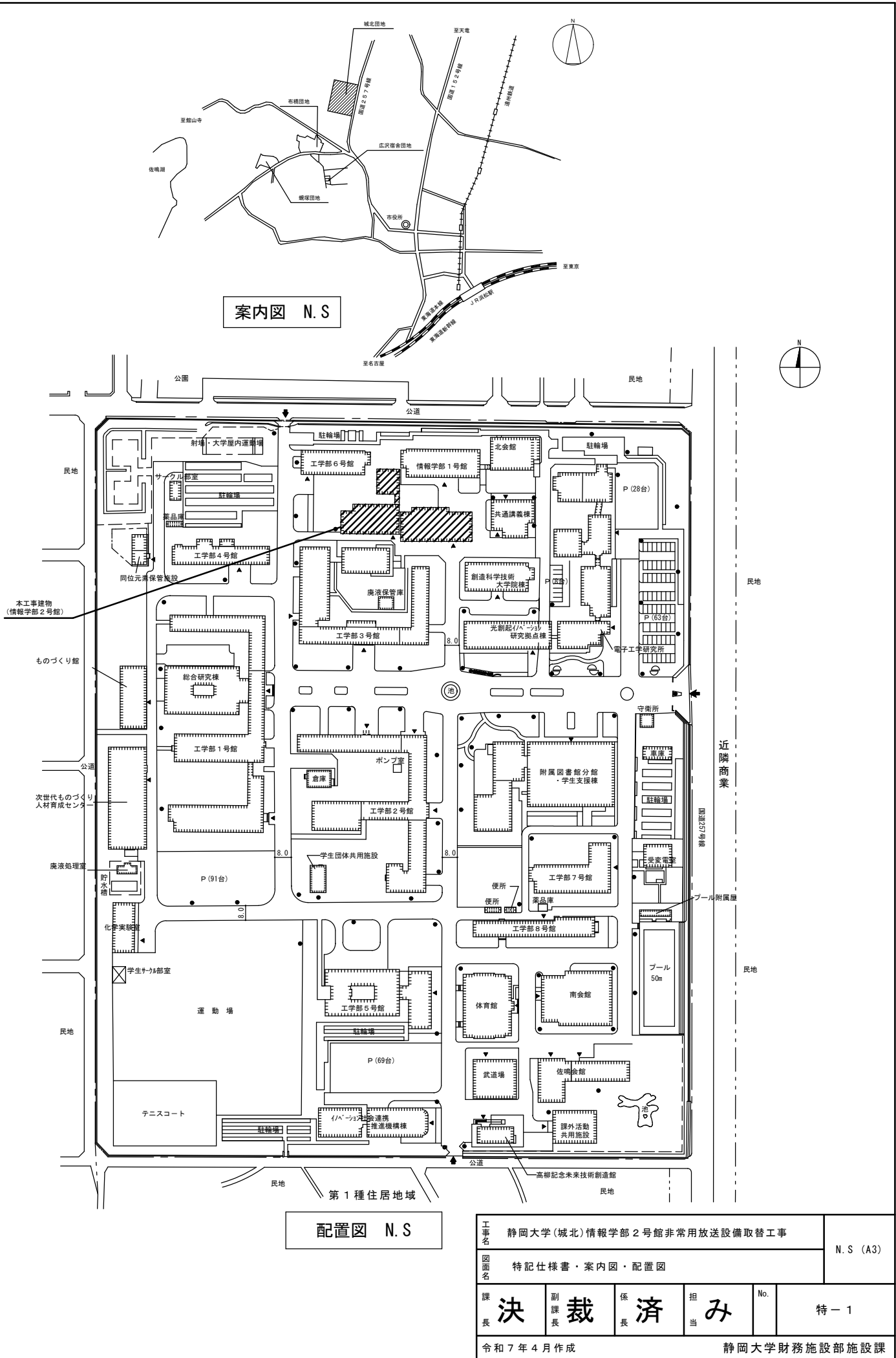
○標準仕様書による。

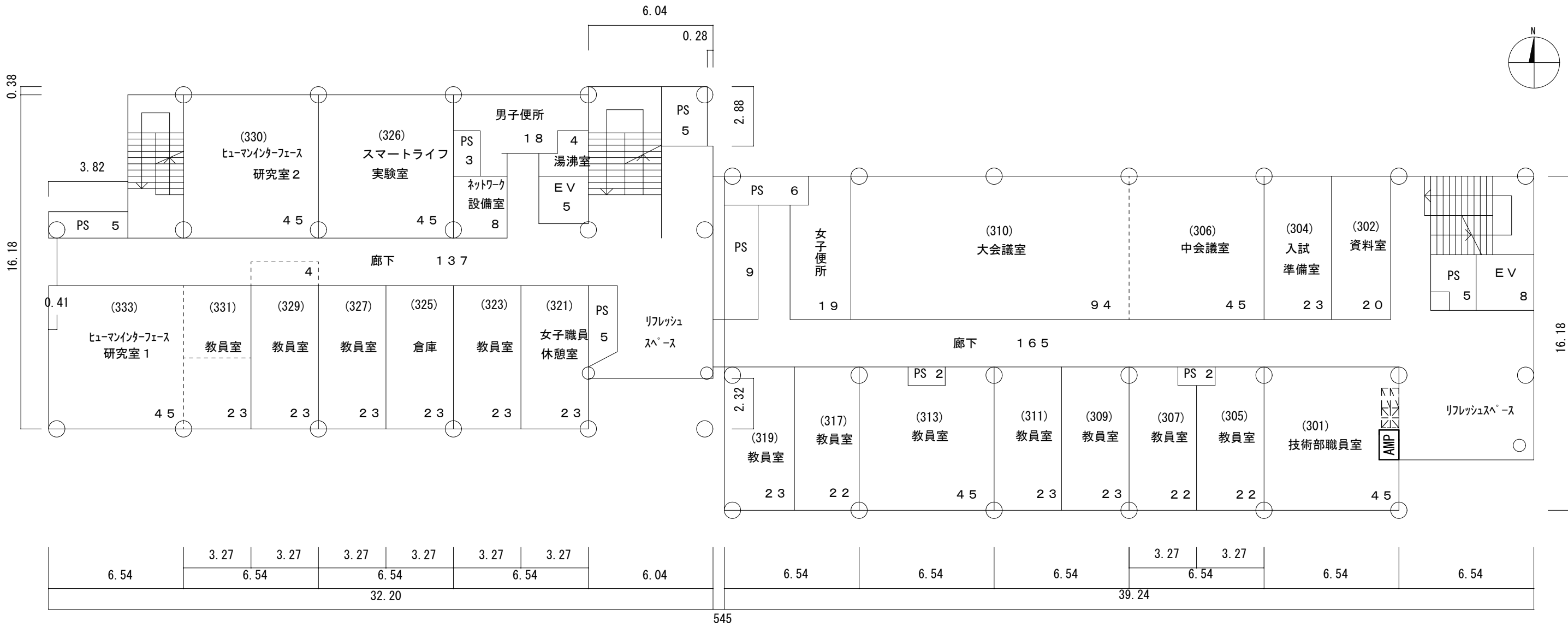
●下記による。

電気方式	第 1 相	第 2 相	第 3 相	中性相
高 圧	三相3線式 赤	白	青	
低 圧	三相3線式 赤	接地極 白	黒	
	三相4線式 赤	青	黒	白
	単相2線式 赤(青)	接地極 白		
	単相3線式 赤	青		白
	直流2線式 青	白		
配 線	(1) 分岐回路の色別	分岐前の色別による。		
	(2) 発電回路の第2相	接地側の電線の色は黄色とする (無停電回路含む)		
	(3) 切替回路の2次側	規定しない		
	(4) 漏電遮断回路の接地	専用接地極とした時の接地線は監督職員と協議し、一次接地線と色別を区別する		
分電盤類	共通事項	配線(1)～(4)による		
	左右・上下及び遠近の別は正面から見た状態	ア) 左右の別は、左からとする。 イ) 上下の別は、上からとし、直流2線式は下からとする ウ) 遠近の別は近いほうからとし、直流2線式は遠いほうからとする		

備考

(a) 配電盤類については、次による。
(1) 左右、遠近の別は、各回路部分における主となる開閉器の操作側又はこれに準ずる側から見た状態とし分電盤類による
(2) 三相回路又は単相3線式回路より分岐する回路は分岐前の色別による
(3) 三相交流の相は、第1相、第2相、第3相の順に相回転するものとする
(b) 屋外架空配線の色別は、本数によらずよい。
(c) 接地線の色別は、監督職員の承諾を受けること。





情報学部2号館3階配線図 S = 1 / 2 0 0

凡例

記 号	撤 去	新 設
	防災アンプ 20局 240W 壁掛型	防災アンプ 20局 270W 壁掛型

	既設複合盤 P型1級 40+10回線 自立型 (残置)
--	-----------------------------

- ※ 既設アンプ：松下通信工業 WK-775B 2000年製
- ※ 既設増幅器：松下通信工業 WU-P38A 2000年製
- ※ 既設複合盤：ホーチキ HAR-AAS4010 受第11-2号 2018年製 と放送設備連動を行うこと。